



水

難事故防止広報



海のシーズン到来

●●●「観光客」のみなさんへ!!
 ■今年7月以降、水難事故が「多発」しています～ご注意を!
 ★みんなの力で「水難事故」をなくしましょう!!

◆海で遊ぶときは次のルールをまもりましょう

- ① 子供だけで泳ぐのはやめましょう。必ず大人といっしょに!
- ② 体の調子が悪いときや飲酒をしたときは、絶対に泳がない。魚釣り、貝採り
 - タコ採り、潮干狩りもしない。(単独では行動しないこと!!)
- ③ 海水浴は監視員の配置されているビーチ等で行い、危険な場所では泳がない。
- ④ 潮干狩り、釣り、遊泳、ボートなどに乗るときは、ライフジャケットを着用しましょう。
- ⑤ 波が高いときや風が強いときなどは、海岸や護岸などには近づかない。
- ⑥ ガケや堤防など転落のおそれのある危険な場所には、近寄らないようにしましょう。
 - ※単独で海岸付近での散策等は行わないこと
- ⑦ 水難事故が発生したときは、無理に自分だけで助けようとせず、まわりに助けを求める
 - とともに、消防や警察、海上保安庁へ直ちに連絡しましょう。



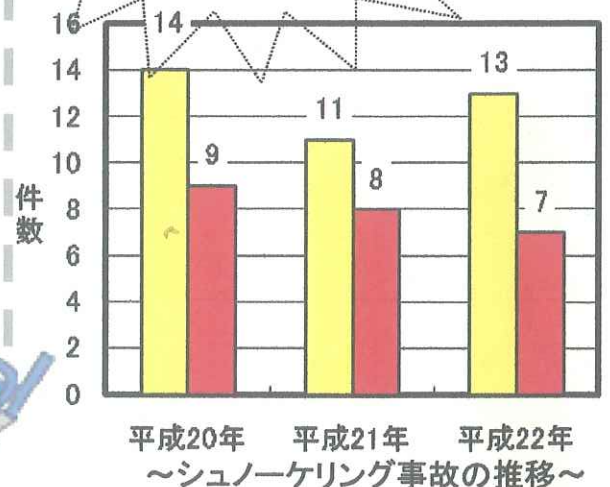
■ シュノーケリングに対する知識を深めてください ■

【シュノーケリングの安全対策5箇条】

- ① 浮力の確保
 ライフジャケット、ウェットスーツを着用すること。
- ② 単独で泳がない
 バディシステム(二人一組)で海に入ること。
- ③ 自己流は危険です!!
 シュノーケリングの基本を習得してから
 はじめましょう。
- ④ 飲酒・体調不良時は事故のもと
 飲酒してのシュノーケリングは自殺行為!
- ⑤ 泳ぐ場所の確認
 リーフカレントの無い、穏やかな海で泳ぐ



シュノーケリング
 事故が毎年多発!



水難事故多発

沖縄県内では今年7月だけで 発生14件 死者9名

(平成23年7月末現在 発生28件 死者16名)

子どもやお年寄りによる海水浴、シュノーケリング中の死亡事故が多発しています。事故防止のために、体調や天候、同伴者の安否に注意し、万が一に備えライフジャケットを着用しましょう。また事故にあった場合は、**必ず医師の診察を受けましょう。**

ライフジャケットを着用しよう

ライフジャケットを着ていれば助かった多くの命。
ライフジャケットを着ずに海水浴やシュノーケリング、魚釣りをして事故に遭って亡くなった方が、**今年8名。**
海や川では何が起こるか分かりません。必ずライフジャケットを着用しましょう。



目を離さない

子どもの事故は、保護者が目を離したちよとした際に起きる。
保護者同伴でのレジャーで亡くなった子どもは**今年2名。**
大人でも一人で出掛けたり家族や友人が目を離したちよとした際に溺れて亡くなった方がたくさんいます。
溺れている人は、自分で助けを呼ぶことができません。
最悪の結果とならないよう常にお互いの安全を確認しましょう。



万が一の救急法

レジャーは、水難救助員や監視員のいる施設で。
海水浴やシュノーケリング中の事故で監視員や救助員により助けられた人は**今年3人。**一方亡くなった方はすべて監視員等がいませんでした。沖縄県警察では、マリンレジャースタッフに心肺蘇生法等の救急法の講習を行っています。
いざという時のために海水浴やシュノーケリングなどのレジャーは、安全な施設を利用して下さい。



すぐ病院へ

「救助したから大丈夫」とは決して思わないで、必ず医師の診察を。
病院に行かず容態が急変し重傷となったケースがあります。
人は溺れると窒息し低酸素状態となります。また飲み込んだ海水に含まれる汚物や雑菌、嘔吐物等で肺の中が汚染されている可能性があります。
一度意識が回復したからと言って安心せず、必ず医師の診察を受けましょう。



青い海 いつも心に 初心者マーク

那覇警察署水上安全対策係